

平成21年度いわて市町村行財政コンサルティング 診断調書（データ編）

市町村名 **花巻市**

【普通会計の状況】

〔表1〕財政力・歳入構造の自立度・安定度（⇒財政的な基礎体力があるか）（単位：百万円、％）

項 目		H15	H16	H17	H18	H19	H20	県 平均 (H20)	H20年度の状況 順位	改善又は悪化 の傾向(H15比)
標準財政規模(臨財債含む)		29,311	28,285	28,349	28,570	27,974	28,285			▲ 1,026 ↓
財政力指数		0.40	0.40	0.41	0.42	0.44	0.47	0.35	7	0.07 ↑
自主財源比率		33.6	36.4	39.1	36.3	38.0	36.1	29.9	9	2.5 ↑
地方税	地方税額	10,040	10,128	10,167	10,197	11,178	11,183			1,143 ↑
	地方税の歳入割合	21.4	22.0	20.7	21.9	23.5	24.8	19.7	9	3.3 ↑
	市町村税の徴収率	94.3	93.8	92.6	92.3	92.3	91.5	92.3	22	▲ 2.8 ↓
	国保税の徴収率	80.1	78.5	77.7	76.1	75.4	72.8	70.9	26	▲ 7.3 ↓
交付税	地方交付税額(臨財債含む)	18,019	16,644	16,432	16,261	15,588	16,001			▲ 2,018 ↓
	交付税依存度	38.4	36.1	33.4	34.8	32.8	35.4	44.5	8	▲ 3.0 ↑

(参考)H21財政力指数

0.47

〔表2〕収支と基金残高（⇒基金の取崩しに頼る財政運営となっていないか。実質単年度収支の3年連続赤字は要注意）

実質収支比率		2.6	2.5	1.9	4.5	3.2	2.6	3.3	26	0.0	↓
実質単年度収支比率		2.1	▲ 1.3	▲ 1.1	▲ 0.5	▲ 3.0	1.6	2.7	17	▲ 0.5	↓
基金	基金現在高	7,913	7,237	5,448	4,331	3,850	4,536			▲ 3,377	↓
	うち財政調整基金	4,884	4,591	3,715	2,829	2,403	2,905			▲ 1,979	↓
	うち減債基金	1,581	1,514	1,569	1,243	1,134	1,125			▲ 456	↓
	基金残高倍率	27.0	25.6	19.2	15.2	13.8	16.0	30.3	25	▲ 11.0	↓
連結実質赤字比率						-	-		-		
一借限度額(普通会計)		5,700	5,700	4,000	4,000	4,000	4,000			▲ 1,700	↑
一借限度額倍率		19.4	20.2	14.1	14.0	14.3	14.1	18.8	9	▲ 5.3	↑

※分母となる標準財政規模には、臨時財政対策債発行可能額分を加算している。（以下の比率において同じ。）

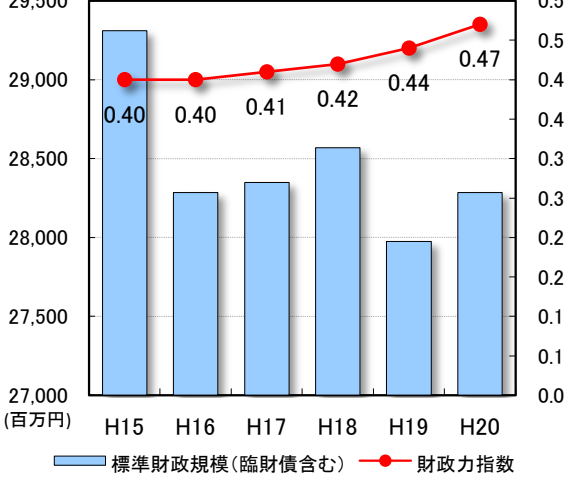
〔表3〕歳出規模の適正度（⇒実質単年度収支が赤字の場合、身の丈にあった歳出規模となっているか）

歳出決算額	45,851	45,198	48,344	45,220	46,535	44,351			▲ 1,500	↓
歳出決算倍率	156.4	159.8	170.5	158.3	166.3	156.8	149.0	27	0.4	↓

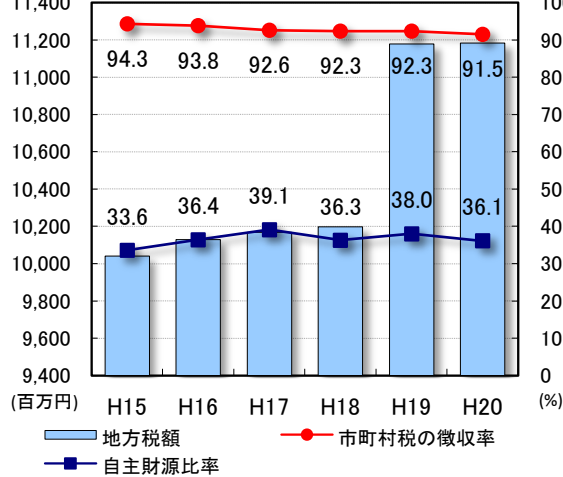
〔表4〕財政構造の弾力性（⇒どの経常的経費の割合が高いか。義務的、経常的経費により財政が硬直化していないか）

経常収支比率		80.6	85.1	89.2	88.1	88.8	87.8	88.0	17	7.2	↓
性質別 内訳	人件費の比率	23.0	24.9	30.5	29.2	28.7	28.5	25.6	27	5.5	↓
	物件費の比率	9.9	9.7	10.2	10.5	10.9	10.9	11.1	19	1.0	↓
	維持補修費の比率	1.5	1.8	2.9	1.6	1.5	1.3	1.4	18	▲ 0.2	↑
	扶助費の比率	4.5	4.9	6.0	6.7	6.8	6.8	5.2	27	2.3	↓
	補助費等の比率	11.5	11.9	5.2	4.9	4.9	4.5	12.2	3	▲ 7.0	↑
	公債費の比率	21.5	22.8	24.4	24.8	25.2	24.4	23.2	23	2.9	↓
繰出金の比率		8.7	8.9	10.0	10.3	10.9	11.4	9.3	27	2.7	↓
経常収支比率(公債費除き)		59.1	62.3	64.8	63.3	63.6	63.4	64.7	16	4.3	↓

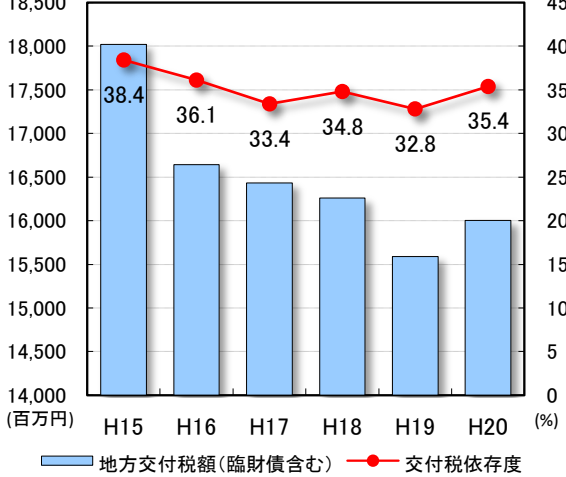
〔図1-1〕標準財政規模と財政力指数



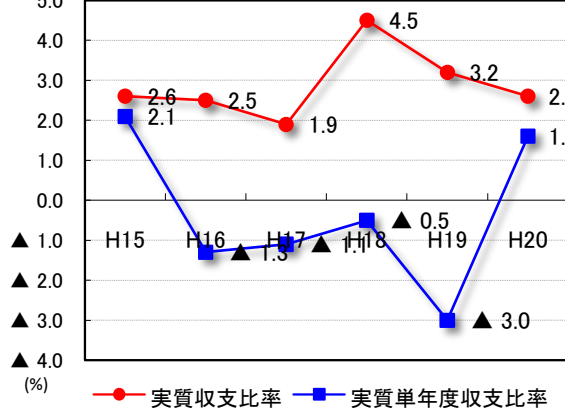
〔図1-2〕地方税額・徴収率と自主財源比率



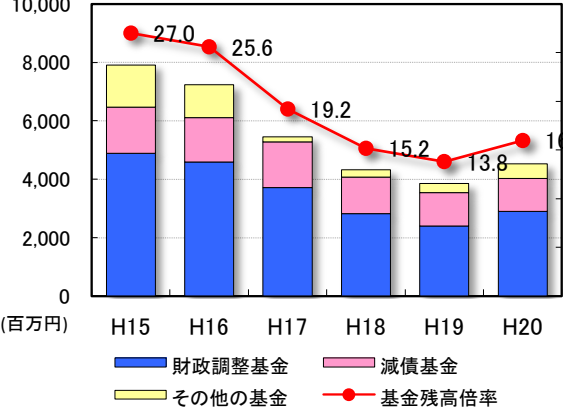
〔図1-3〕地方交付税額と交付税依存度



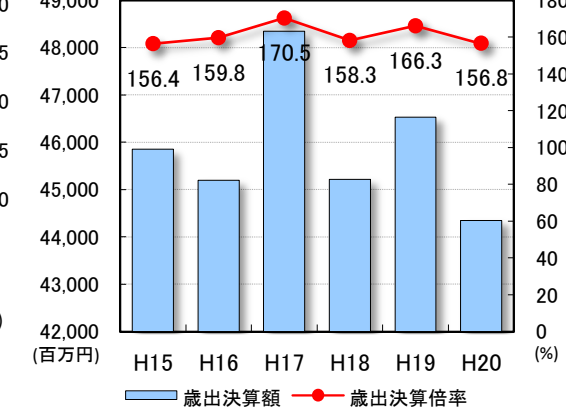
〔図2-1〕実質収支比率と実質単年度収支比率



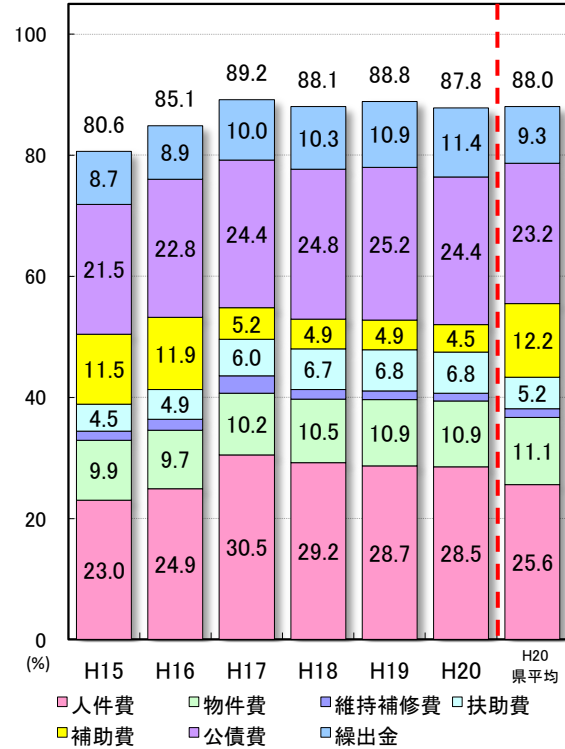
〔図2-2〕基金現在高と基金残高倍率



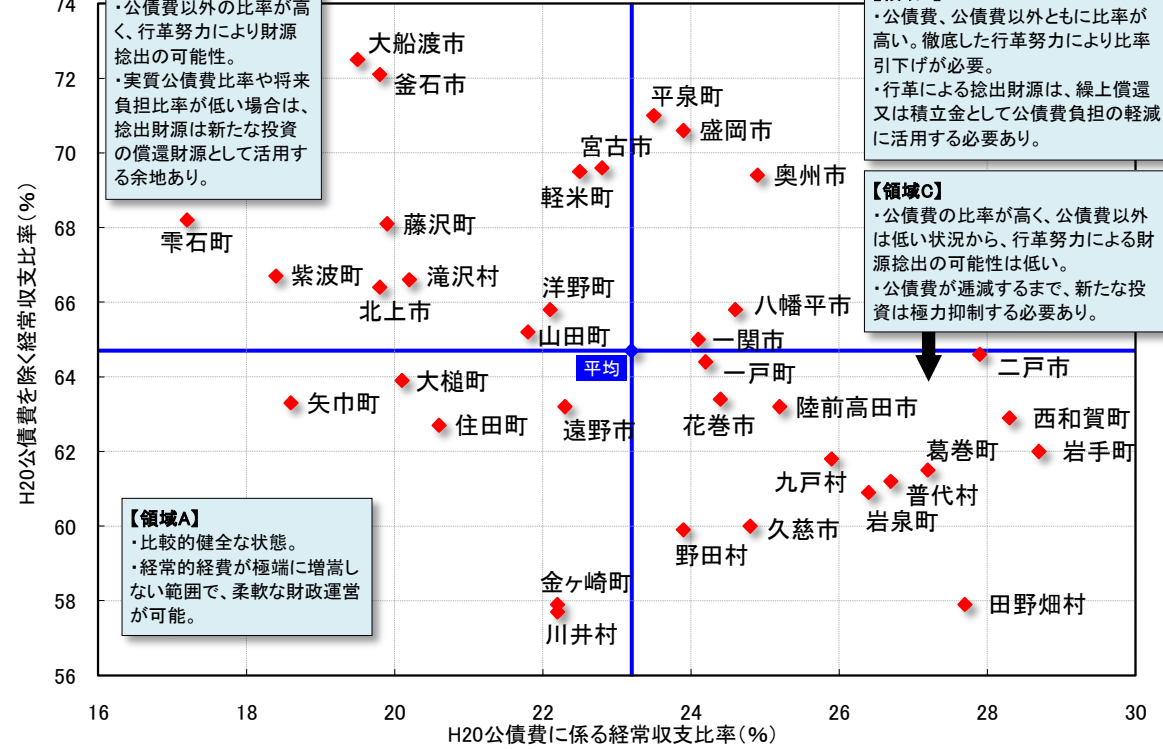
〔図3〕歳出規模



〔図4-1〕経常収支比率とその性質別内訳



〔図4-2〕H20経常収支比率の状況



〔表5〕 人件費と公債費の適正度 （⇒財政硬直の最大要因である人件費、公債費の状況はどうか） （単位:百万円、%）

項 目		H15	H16	H17	H18	H19	H20	県 平均 (H20)	H20年度の状況			
									順位	改善又は悪化 の傾向（H15比）		
職員数 と 人件費	職員数	1,055	1,030	1,156	1,134	1,105	1,095			40	↓	
	うち 普通会計関係	907	887	1,012	995	983	978			71	↓	
	うち企業会計等会計	148	143	144	139	122	117			▲ 31	↑	
	人口千人当たり職員数	9.9	9.7	10.9	10.8	10.6	10.5	12.7	16	0.6	↑	
	ラスパイレス指数（給与水準）	92.6	93.4	94.3	93.6	92.9	92.7	95.5	11	0.1	↓	
公債費	公債費負担比率	18.9	19.9	19.8	21.1	21.4	21.4	20.5	20	2.5	↓	
	実質公債費比率（3ヵ年平均）			17.7	19.0	19.6	19.6	17.0	29	1.9	↓	

※職員数・ラスパイレス指数は(n+1)年度4月1日現在。 ※実質公債費比率は(n+1)年度の値

〔表6〕 投資的経費の状況 （⇒社会資本整備のための投資的経費の状況はどうか）

歳出に占める普通建設事業費の割合	18.6	17.1	16.3	17.8	18.1	15.6	13.4	10	▲ 3.0	↓
うち単独事業	13.8	11.8	11.9	12.6	11.8	10.4	7.1	4	▲ 3.4	↓

〔表7〕 プライマリーバランスと地方債残高の状況 （⇒プライマリーバランスの黒字が確保されているか、その結果地方債残高はどうか）

元金償還額(臨財債を含む)	5,208	5,499	6,074	6,186	6,209	6,216			1,008	↓
地方債発行額(臨財債を含む)	6,445	5,043	5,743	4,681	5,890	4,636			▲ 1,809	↑
地方債残高(臨財債を含む)	64,023	63,567	64,497	62,992	62,673	61,093			▲ 2,930	↑
プライマリーバランス(発行額/償還額)	123.8	91.7	94.6	75.7	94.9	74.6	64.5	28	▲ 49.2	↑
地方債現在高倍率	218.4	224.7	227.5	220.5	224.0	216.0	191.4	26	▲ 2.4	↑

※地方債残高にはNTT債を含まないので、前年度との差引きが合わない場合がある。

〔表8〕 将来の財政負担の状況 （⇒将来的な財政負担の状況はどうか）

①地方債残高	64,023	63,567	64,497	62,992	62,673	61,093			▲ 2,930	↑
②債務負担行為支出予定額	5,168	3,993	3,519	3,939	2,858	4,094			▲ 1,074	↑
③基金現在高	7,913	7,237	5,448	4,331	3,850	4,536			▲ 3,377	↓
将来財政負担額(①+②-③)	61,278	60,323	62,569	62,601	61,681	60,651			▲ 627	↑
将来財政負担比率	209.1	213.3	220.7	219.1	220.5	214.4	178.0	26	5.3	↓
将来負担比率					191.1	167.9	128.7	28		

【国保等事業会計の状況】 ※国保(事業勘定)、国保(直診勘定)、老人保健、介護保険、介護サービスの特別会計

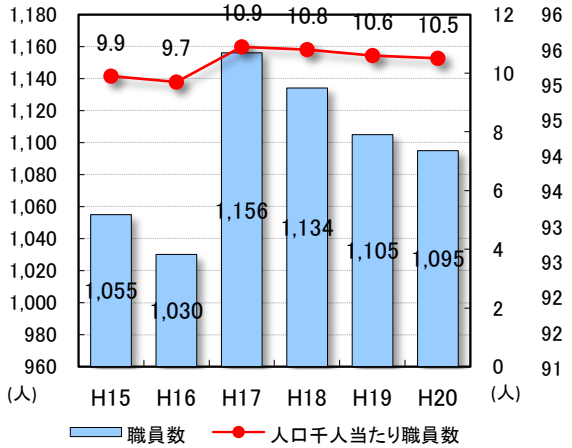
〔表9〕 収支の状況

全事業会計の実質収支合計額		279	253	387	343	141	379			100	↓
上記の標財規模に対する割合		1.0	0.9	1.4	1.2	0.5	1.3	2.4	22	0.3	↓
実質 収支の 内訳	国保(事業勘定)	173	182	307	272	86	317			144	↑
	国保(直診勘定)	13	14	10	9	0	0			▲ 13	↓
	老人保健	10	▲ 8	0	0	33	6			▲ 4	↓
	介護保険	83	65	69	62	22	55			▲ 28	↓
	介護サービス				0	0	0			#VALUE!	#VALUE!

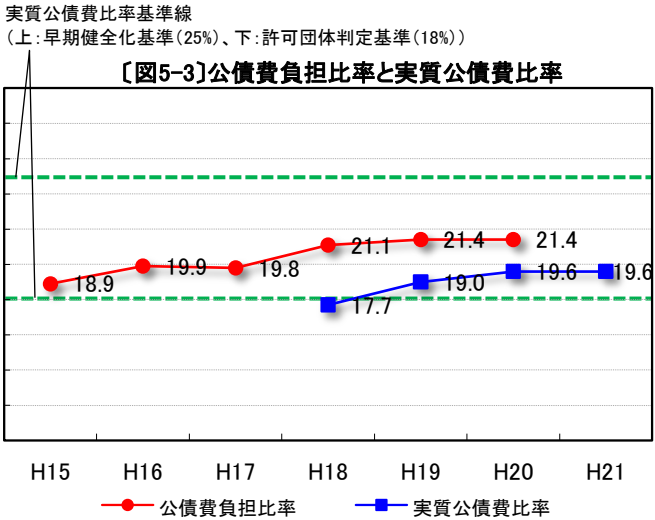
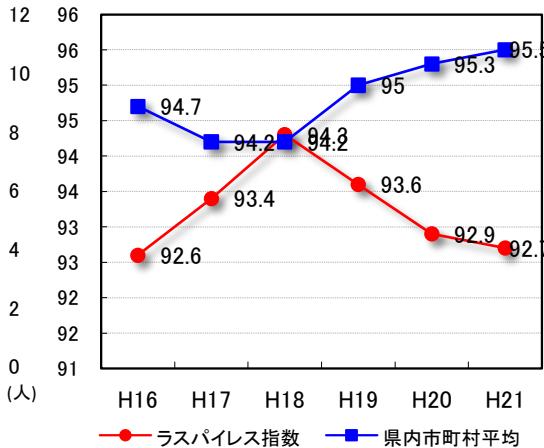
〔表10〕 一般会計等からの繰入金の状況

全事業会計の繰入金合計額		2,432	2,414	2,648	2,746	2,793	1,878			▲ 554	↑
上記の標財規模に対する割合		8.3	8.5	9.3	9.6	10.0	6.6	5.4	24	▲ 1.7	↑
繰入金 の内訳	国保(事業勘定)	677	617	750	773	765	677			0	↓
	国保(直診勘定)	165	142	127	121	109	34			▲ 131	↑
	老人保健	730	708	779	820	857	54			▲ 676	↑
	介護保険	860	948	991	1,016	1,037	1,087			227	↓
	介護サービス				16	26	26			#VALUE!	#VALUE!

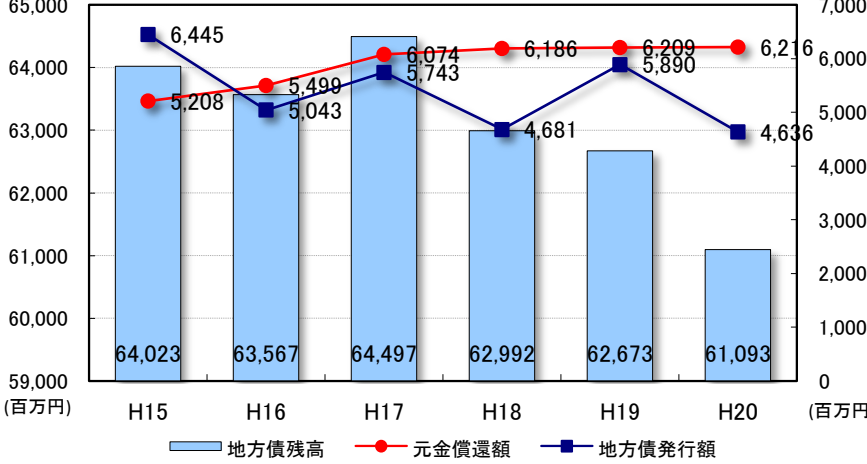
〔図5-1〕職員数と人口千人当たり職員数



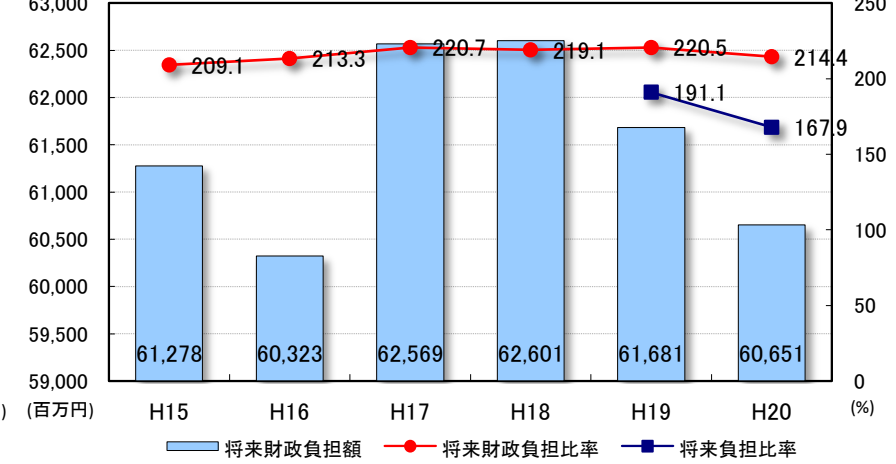
〔図5-2〕ラスパイレス指数



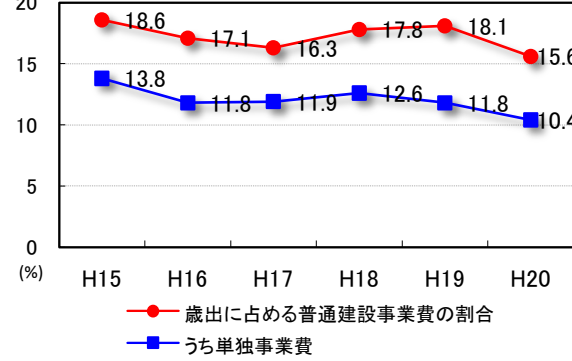
〔図7〕地方債残高とプライマリーバランス



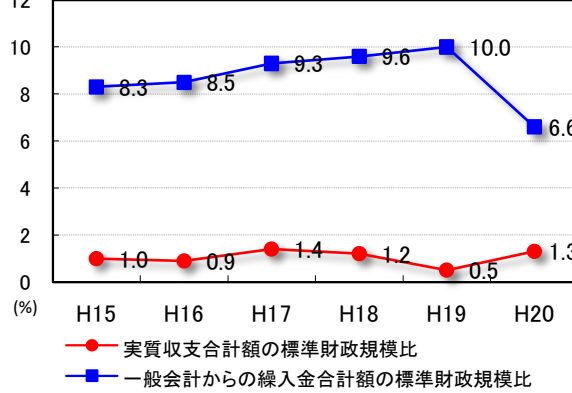
〔図8〕将来の財政負担



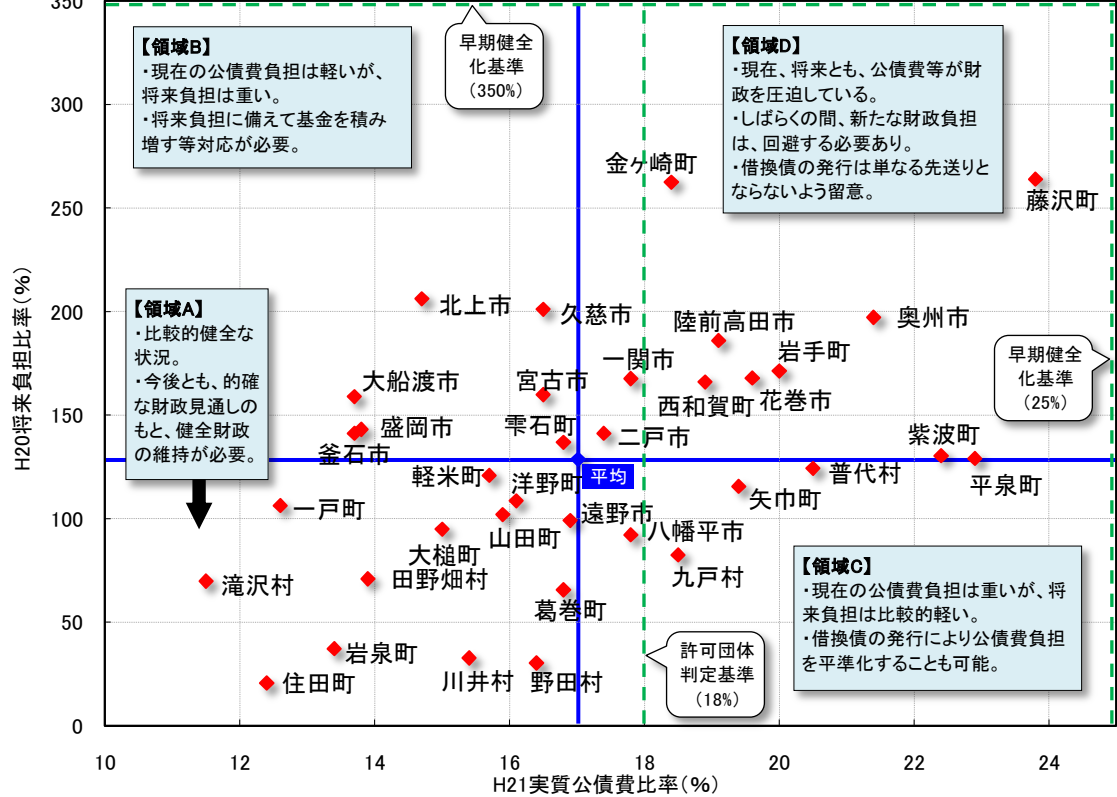
〔図6〕普通建設事業費の状況



〔図9・10〕事業会計の実質収支と繰入金



〔図5・8〕H21実質公債費比率及びH20将来負担比率の状況



【公営企業の状況】

〔表11〕収支の状況 ※法適用は純損益、法非適は実質収支

(単位:百万円、%)

項 目		H15	H16	H17	H18	H19	H20	県 平均 (H20)	H20年度の状況	
									順位	改善又は悪化 の傾向(H15比)
全公営企業会計の収支合計額		182	185	98	210	227	327			145 ↑
上記の標財規模に対する割合		0.6	0.7	0.3	0.7	0.8	1.2	0.0	7	0.6 ↑
法適用 企業	上水道	87	76	41	115	122	136			49 ↑
										#N/A #N/A
										#N/A #N/A
法非適用 企業	簡易水道	8	11	6	17	21	28			20 ↑
	市場	4	2	0	4	1	4			0 ↓
	介護サービス(介護老人保健施設)	10	16	11	15	24	37			27 ↑
	公共下水道	32	52	18	29	27	71			39 ↑
	特定環境下水道	0	0	1	2	3	0			0 ↓
	農業集落排水	37	19	17	19	21	41			4 ↑
	特定地域生活排水	4	8	2	10	9	9			5 ↑
										#N/A #N/A
										#N/A #N/A
										#N/A #N/A

〔表12〕資金不足の状況

資金不足比率										

〔表13〕一般会計等からの繰入金の状況

全公営企業会計の繰入金合計額	2148	2271	2380	2172	2253	2246			98	↓
上記の標財規模に対する割合	7.3	8.0	8.4	7.6	8.1	7.9	7.2	23	0.6	↓
うち基準外繰入金合計額	830	979	1034	630	405	310			▲ 520	↑
法適用企業基準外繰入金	上水道	1	1	6	5	0	0			▲ 1 ↑
										#N/A #N/A
										#N/A #N/A
										#N/A #N/A
法非適用企業基準外繰入金	簡易水道	21	2	16	13	0	0			▲ 21 ↑
	市場	0	0	0	17	14	9			9 ↓
	介護サービス(介護老人保健施設)	0	0	0	0	0	0			0 ↓
	公共下水道	347	507	399	269	133	70			▲ 277 ↑
	特定環境下水道	0	105	110	21	0	2			2 ↓
	農業集落排水	343	344	482	270	213	182			▲ 161 ↑
	特定地域生活排水	27	20	21	34	45	48			21 ↓
										#N/A #N/A
										#N/A #N/A
										#N/A #N/A

【一部事務組合等への財政支援等の状況】 〔表14〕一部事務組合等への負担金、補助金の状況

補助金、負担金計	2,672	2,629	616	586	561	434			▲ 2,238	↑
貸付金計	0	0	0	0	0	0			0	↓

※「貸付金計」にはH20年度決算において「貸付残高」のある組合等を掲げている → 該当無し

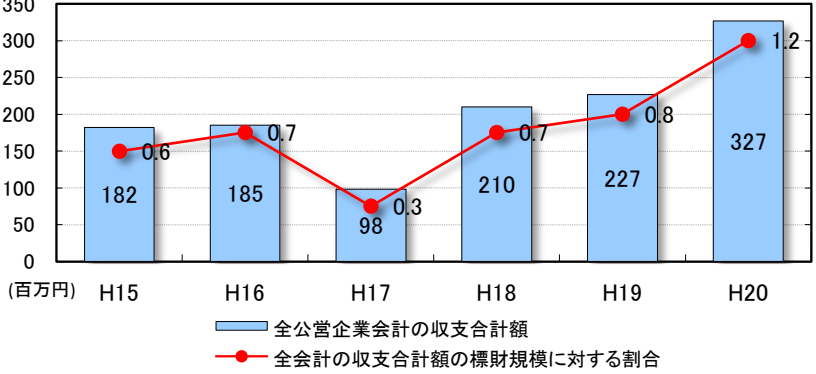
【土地開発公社への財政支援等の状況】 〔表15〕土地開発公社への補助金、貸付金、債務保証残高の状況

補助金	0	0	0	0	0	0			0	↓
貸付金	0	0	0	0	0	0			0	↓
債務保証残高	883	919	919	629	540	0			▲ 883	↑
平成19年度末の「供用済み土地」	43	百万円								
平成19年度末の「未収金土地」	-	百万円								

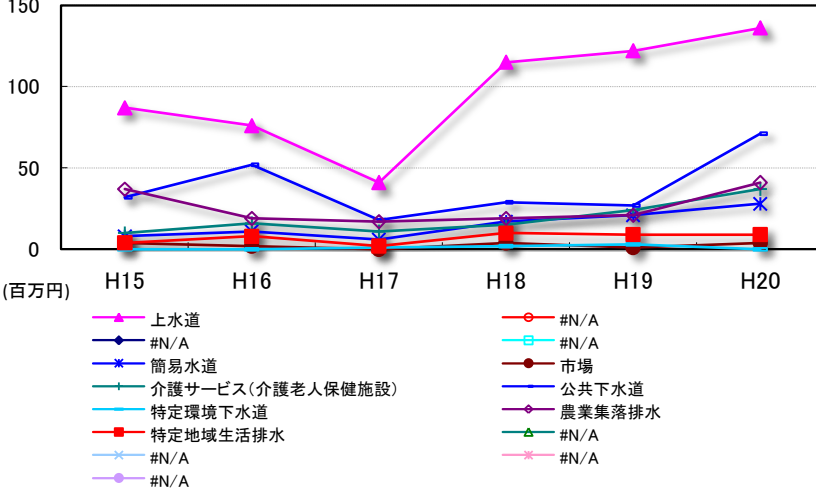
【第三セクターへの財政支援の状況】 〔表16〕第三セクターへの補助金、貸付金、損失補償残高の状況

補助金	87	79	79	76	47	66			▲ 21	↑
貸付金	0	0	0	0	0	0			0	↓
損失補償残高	4	0	0	0	0	0			▲ 4	↑

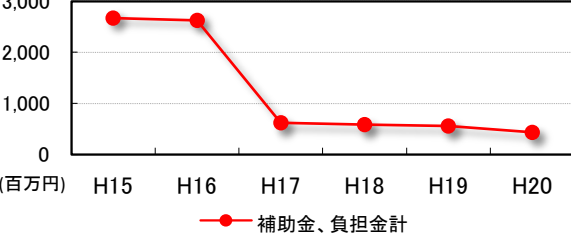
〔図11-1〕公営企業の収支の状況



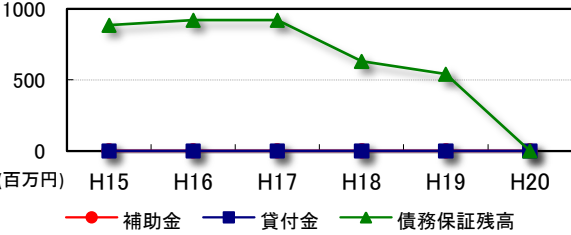
〔図11-2〕公営企業の収支の状況(会計別)



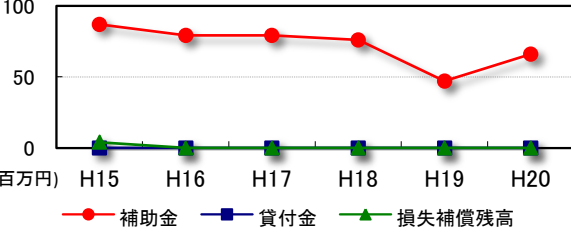
〔図14〕一部事務組合への財政支援の状況



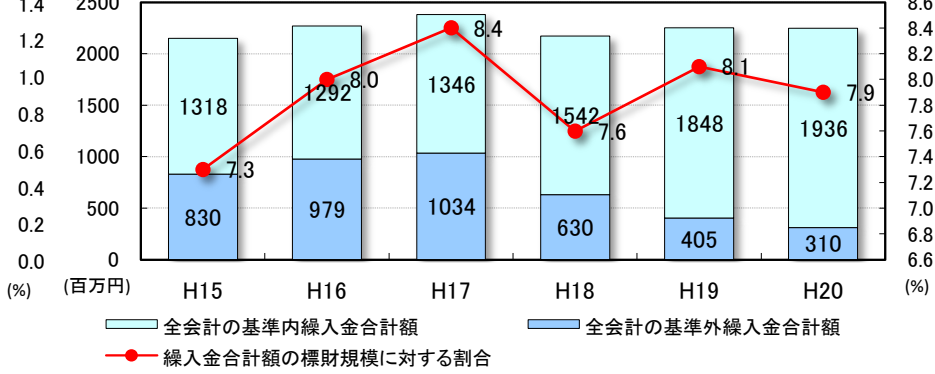
〔図15〕土地開発公社への財政支援の状況



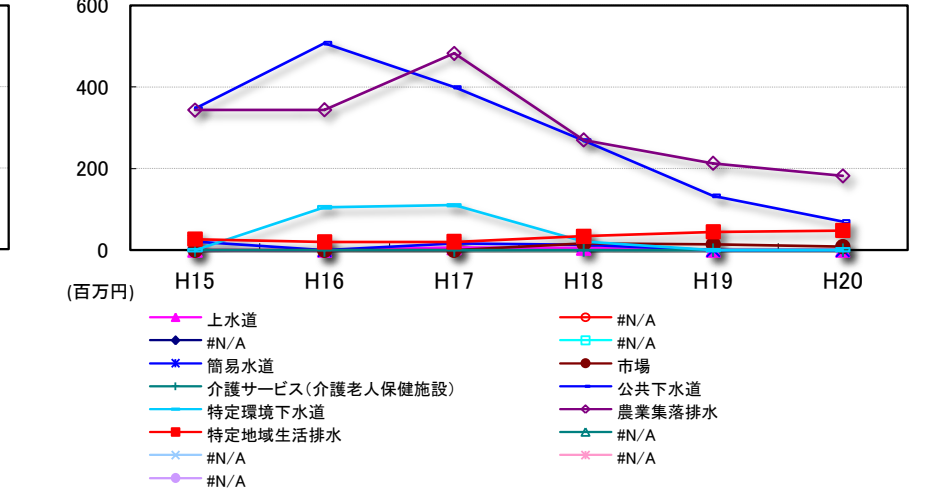
〔図16〕第三セクターへの財政支援の状況



〔図13-1〕公営企業の繰入金の状況



〔図13-2〕公営企業の基準外繰入金の状況(会計別)



〔図13-3〕H20企業債残高とH20公営企業の繰入金の状況

